専門分野 看 2-10

安门刀野				1				
   科日名:	:成人臨床看護Ⅲ			必	1 単位			
''	(45 時間							
( Adult Clinical Nursing Ⅲ )								
履修年次/時期:2年次 前期 授業形態:講義・演習								
担当教員: 棚橋泰之(実務経験有) 松田謙一(実務経験有)								
学修目的	慢性的な疾患をもつ人・家族がセルフケア能力を高め、疾患と生活に折り合いをつけながら、その人にとって最適な健					な健		
	康状態になるような看護に関連する理論と方法を修得する。さらに、事例を通して、具体的な実践方法について修得す							
	る。CP1, 2, 3, 4, 5	6 に関連する。 科目No.KN:	z-210					
この科目	1. 医療専門職としての	(1)生命の尊厳を基盤とし	医療における倫理観を有す	る。		0		
が目的と	倫理観を有する。	(2)医療専門職として礼節	を重んじ品格を備える。			0		
している	2. 医療専門職として健	(1)教養と考える力を身に	つけ、主体的に課題解決に取	ひ組む	能力を有する。	0		
DP	康問題の発見と課題に取	(2) 専門的知識や技術を修	导し、人びとの健康に寄与て	きる能力	りを有する。	0		
	り組む能力を有する。	(3) 社会の動向に関心をも	ち、学び続ける力を有する。			0		
	3. 健康支援を通し、全身	(1)多様な価値観を持った	人びとを理解し、人間関係を	築く能力	りを有する。	0		
	の健康を守る看護実践能	(2)優しさに溢れる看護専	門職として地域社会に貢献す	る能力を	を有する。	0		
	力を有する。	(3)看護専門職としての役	割と責任を自覚し、多職種と	協働でき	きる能力を有する。	0		
	◎: この講義・演習・実習と最も関連がある DP							
	○: この講義・演習・実習	と関連がある DP						
到達目標	①慢性疾患をもつ人の特性を理解し、看護アセスメントに活用できる。							
	②慢性疾患患者に適用できる理論や概念について理解できる。							
	③事例を通して、慢性疾患をもつ人・家族の看護診断を明確にし、看護計画を立案することができる。							
	④慢性疾患をもつ人・家族	への具体的な援助技術、援助方	法を理解することができる。					
授業概要	慢性的な疾患と共に生活す	る人のセルフケアとその看護を	学ぶ。慢性的な疾患を持つ対	対象が、タ	<b>疾患と生活に折り合</b>	いを		
	つけて、自分らしく生きていくその過程を理解し、支援していくための概念や理論を用いて、具体的な実践方法につい							
	て学ぶ。							
評価方法	学習成果 30%							
	看護過程の展開 70%							
	試験に対するフィードバッ	フは掲示で行う。						
予習•	【予習】O.1 時間							
復習時間	【復習】O.1 時間							
教科書	系統看護学講座 成人看護	学総論(医学書院) 系統看	護学講座 臨床看護総論(医	学書院)				
	系統看護学講座 基礎看護		雙学講座 内分泌・代謝(医学	学書院)				
	系統看護学講座 腎・泌尿							
/\		看護学 看護過程の授業で使用 	したもの)					
参考書	授業の中で紹介する							
オフィスアワー	<u>tanahashi@kdu.ac.jp</u>	在時はメールで連絡をお願いし	ン <b>ます。</b>					
連絡先								

専門分野 看 2-10

	等门刀野	1227MK = 1	777 /=777 L 7 L	有 2-10
① 当該科目で取り組む学習内容がイメージで きる。 ② 学習計画が立案できる。	実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
きる。   2 学習計画が立案できる。   (注・ワード   成人間の発達課題、エリクソン、ハヴィガースト、病みの軌跡モデル、軌跡の予測と編みなおし   (世性期患者の結構	1 ( / )			
② 学習計画が立案できる。   後性期患者の看護				│○棚橋
信性期患者の香護 (1) 慢性期患者の特性が理解できる。 ② 成人期にある人々が慢性疾患を患う事の意味が理解できる。 ② の人期にある人々が慢性疾患を患う事の意味が理解できる。 ② の世に表情、核直を病態関連図に描すできる。 ② フェイスシートが適切に記載できる。 図をな機能的健康パターンの看護アセスメントの治理を全体像関連図として示すことができる。 ② 学びのプロセスを他者に説明できる。 ② 学びのプロセスを他者に説明できる。 ② 学がの成職 (1) 所収 (1) の人 (1)		きる。	[復習]授業内容を復習する。	
(1) 慢性用患者の特性が理解できる。 (2) 成人期にある人々が慢性疾患を患う事の意味が理解できる。 (3) (4) (4) 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に振治する。 (5) 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に振治する。 (5) アイノントが遭切に記載できる。 (5) 学びのプロセスを他者に説明できる。 (6) 学びのプロセスを他者に説明できる。 (7) 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図として示すことができる。 (6) 学びのプロセスを他者に説明できる。 (7) 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図として示すことができる。 (7) 学びのプロセスを他者に説明できる。 (7) 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図とない。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図とない。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係できる。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係できる。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係できる。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係できる。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係でする。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係できる。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係できる。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係でする。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係でする。 (7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係では、(7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係では、(7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係では、(7) 事例の病影生理、治療、検査を病態関連図に関係では、(7) 事例の病影性理ができる。 (7) 事例の病影性理ができる。 (7) 世間関係 (7) 事例の原影性、治療、検査、薬物療法、透析療法、腎移植、原療症、どれの重症度分類、腎臓・ (7) 事所強、関係性腎症、食事療法、薬物療法、透析療法、腎移植、尿病症、CKDの重症度分類、腎臓・ (7) 事の表述、腹膜透析療法、腎移植、尿病症、CKDの重症度分類、腎臓・ (7) 事の表述、腹膜透析療法、腎移植、尿病症、CKDの重症度分類、腎臓・ (7) 事の表述、腹膜透析療法、腎移植、尿療療法、関節の表述、腹膜透析療法、腎移植、尿療療法、関節の表述、腹膜透析療法、腎移植、尿療療法、関節の表述、腹膜透析療法、腎移植、尿療療法、腹膜透析療法、腎移植、尿療療法、腹膜透析療法、腎移植、尿療療法、腹膜透析療法、腎移植、尿療療法、腹臓の変速パターン、栄養・代謝パターと、排光パターと、抗療法、腹膜透析療法、腹膜の変速パターン、栄養・代謝パターと、抗療法、腹膜が関係・健療の変速パターン、排池パターン、抗療法・健療の表述を持続ないる。 (7) は、(7) は、(7		② 学習計画が立案できる。	[キーワード] 成人期の発達課題、	
② 成人即にある人々が慢性疾患を患う事の意味が理解できる。		慢性期患者の看護	エリクソン、ハヴィガースト、病み	
映が理解できる。   2( / )   復性疾患患者の看護(1)肝硬変事例		① 慢性期患者の特性が理解できる。	の軌跡モデル、軌跡の予測と編みな	
2(		② 成人期にある人々が慢性疾患を患う事の意	おし	
3 ( / )		味が理解できる。		
4 ( / / ) 描写できる。	2 ( / )	慢性疾患患者の看護(1)肝硬変事例	[予習]事例の看護過程を展開する。	講義・演
(ドーワード) ② フェイスシートが適切に記載できる。	3 ( / )	① 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に	[復習] 授業内容を振り返り、看護展	習
6 ( / / ) 3 必要な機能的健康バターンの看護アセスメ フトができる。 4 看護アセスメントの結果を全体像関連図として示すことができる。 5 学びのプロセスを他者に説明できる。	4 ( / )	描写できる。	開に活用する。	〇棚橋
7 ( / )	5 ( / )	② フェイスシートが適切に記載できる。	[キーワード]	
(4) 看護アセスメントの結果を全体像関連図として示すことができる。 (5) 学びのプロセスを他者に説明できる。	6 ( / )	③ 必要な機能的健康パターンの看護アセスメ	慢性肝障害、びまん性の線維化、肝	
して示すことができる。	7 ( / )	ントができる。	小葉構造の破壊、門脈圧亢進、代謝	
(5) 学びのプロセスを他者に説明できる。		④ 看護アセスメントの結果を全体像関連図と	障害、非代償性、肝性脳症、黄疸、ク	
学修成果物		して示すことができる。	モ状血管腫、手掌紅斑、出血傾向、	
1. フェイスシート 2. 病態関連図 3. 機能的健康パターンのアセスメント 4. 全体像関連図 知識確認テスト(10点)  8( ) 慢性疾患患者の看護(2)慢性腎不全事例 9( / ) ① 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に 10( / ) 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に 11( / ) ② フェイスシートが適切に記載できる。 12( / ) ③ 必要な機能的健康パターンの看護アセスメントできる。 14( / ) ④ 看護アセスメントの結果を全体像関連図として示すことができる。 (⑤ 学びのプロセスを他者に説明できる。 等残れ、変が療法、変が療法、適か療法、血液 透析療法、腹膜透析療法、角液 透析療法、血液 透析療法、腹膜透析療法、腎移植、 尿毒症、CKD の重症度分類、腎障害 た示す血液データ、画像診断、胸水、 心胸比、体液量過剰、健康知覚・健 康管理パターン、栄養・代謝パター ス、活動・運動パターン、非池パタース、排池パタース、 大き ・代謝パタース、 大き ・代謝パタース、 大き ・代謝パタース、 大き ・代謝パタース、 大き ・代謝パタース、 大き ・代謝パタース、 大き ・代謝パタース・ 大き ・代謝パタース・ 大き ・できばいる ・ できばいる ・ ではいる ・ できばいる ・ できばいる ・ できばいる ・ できばれる ・ できばいる ・ できばいる ・ できばいる ・ できばいる ・ できばいる		⑤ 学びのプロセスを他者に説明できる。	腹水、腹壁皮下静脈の怒張、食道静	
2. 病態関連図		学修成果物	脈瘤、肝機能障害を示す血液データ、	
3. 機能的健康パターンのアセスメント		1. フェイスシート	画像診断、薬物療法、食事療法、	
4. 全体像関連図		2. 病態関連図	行動変容、栄養指導、自己効力感、	
8 ( ) 慢性疾患患者の看護(2)慢性腎不全事例 [予習]既習した慢性腎不全について 講義・演 9 ( / ) ① 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に 復習しておく。 習 (復習しておく。		3.機能的健康パターンのアセスメント	不安、健康知覚 - 健康管理パターン、	
8 ( ) 慢性疾患患者の看護 (2) 慢性腎不全事例 [予習]既習した慢性腎不全について 講義・演習 (2) り 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に 復習しておく。 [復習] 授業内容を振り返り、看護展 (2) り 世帯できる。 [復習] 授業内容を振り返り、看護展 (2) り フェイスシートが適切に記載できる。 [復習] 授業内容を振り返り、看護展 (2) り フェイスシートが適切に記載できる。 [復習] 授業内容を振り返り、看護展 (2) り できる。 [生一ワード] といかできる。 [キーワード] といかできる。 (2) り できる。 (3) 必要な機能的健康パターンの看護アセスメ (2) していっすことができる。 (3) 学びのプロセスメントの結果を全体像関連図と (2) していっすことができる。 (3) 学びのプロセスを他者に説明できる。 (3) 学びのプロセスを他者に説明できる。 (3) 学びのプロセスを他者に説明できる。 (3) 学がのプロセスを他者に説明できる。 (4) 原産主、 (3) 原障害 をいず血液データ、画像診断、胸水、 (4) の事症度分類、腎障害 をいず血液データ、画像診断、胸水、 心胸比、体液量過剰、健康知覚・健康知覚・健康で理パターン、栄養・代謝パター と、全体像関連図 (4) に対ける (4) 原管理パターン、栄養・代謝パター (4) 全体像関連図 (4) に対ける (4) 原管理パターン、栄養・代謝パター (4) 全体像関連図 (4) に対ける (4		4. 全体像関連図	栄養 - 代謝パターン、活動 - 運動パ	
9 ( / )       ① 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に 描写できる。       復習しておく。       図         10 ( / )       2 フェイスシートが適切に記載できる。       開に活用する。         12 ( / )       ③ 必要な機能的健康パターンの看護アセスメ ントができる。       [キーワード]         13 ( / )       ントができる。       (CKD)、GFR、糖尿病性腎症、食 事療法、薬物療法、透析療法、血液 透析療法、原移植、 京毒症、CKDの重症度分類、腎障害 1. フェイスシート 2. 病態関連図 3. 機能的健康パターンのアセスメント 4. 全体像関連図       で示す血液データ、画像診断、胸水、 心胸比、体液量過剰、健康知覚・健康管理パターン、栄養・代謝パター ン、活動・運動パターン、排泄パタ		知識確認テスト(10点)	ターン	
10( / )       描写できる。       [復習] 授業内容を振り返り、看護展       〇松田         11( / )       ② フェイスシートが適切に記載できる。       開に活用する。       [キーワード]         13( / )       ントができる。       慢性腎不全(CRF)、慢性腎臓病         14( / )       ④ 看護アセスメントの結果を全体像関連図として示すことができる。       (CKD)、GFR、糖尿病性腎症、食事療法、薬物療法、透析療法、血液透析療法、腎移植、透析療法、腹膜透析療法、腎移植、尿毒症、CKDの重症度分類、腎障害を示す血液データ、画像診断、胸水、心胸比、体液量過剰、健康知覚・健康管理パターン、栄養・代謝パター、         1. フェイスシートを示す血液データ、画像診断、胸水、心胸比、体液量過剰、健康知覚・健康管理パターン、栄養・代謝パターン、洗透・理動パターン、排泄パタ       小り、活動・運動パターン、排泄パタ	8()	慢性疾患患者の看護(2)慢性腎不全事例	[予習]既習した慢性腎不全について	講義・演
11(//)       ② フェイスシートが適切に記載できる。       開に活用する。         12(//)       ③ 必要な機能的健康パターンの看護アセスメ ントができる。       [キーワード]         14(//)       ④ 看護アセスメントの結果を全体像関連図と して示すことができる。       (CKD)、GFR、糖尿病性腎症、食 事療法、薬物療法、透析療法、血液 透析療法、腹膜透析療法、腎移植、尿毒症、CKD の重症度分類、腎障害 を示す血液データ、画像診断、胸水、 心胸比、体液量過剰、健康知覚・健 東管理パターン、栄養・代謝パター ン、活動・運動パターン、排泄パタ	9 ( / )	① 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に	復習しておく。	習
12( / ) ③ 必要な機能的健康パターンの看護アセスメ [キーワード]	10 ( / )	描写できる。	[復習]授業内容を振り返り、看護展	〇松田
13( / ) ントができる。 慢性腎不全(CRF)、慢性腎臓病 14( / ) 4 看護アセスメントの結果を全体像関連図と して示すことができる。	11 ( / )	② フェイスシートが適切に記載できる。	開に活用する。	
14( / )	12( / )	③ 必要な機能的健康パターンの看護アセスメ	[キーワード]	
15(/) して示すことができる。	13( / )	ントができる。	慢性腎不全(CRF)、慢性腎臟病	
<ul> <li>⑤ 学びのプロセスを他者に説明できる。</li> <li>一 グライスシート</li> <li>2. 病態関連図</li> <li>3. 機能的健康パターンのアセスメント</li> <li>4. 全体像関連図</li> <li>透析療法、腹膜透析療法、腎移植、尿毒症、CKD の重症度分類、腎障害を示す血液データ、画像診断、胸水、心胸比、体液量過剰、健康知覚・健康で理パターン、栄養・代謝パターン、洗着・代謝パターン、活動・運動パターン、排泄パタ</li> </ul>	14( / )	④ 看護アセスメントの結果を全体像関連図と	(CKD)、GFR、糖尿病性腎症、食	
学修成果物  1. フェイスシート 2. 病態関連図 3. 機能的健康パターンのアセスメント 4. 全体像関連図  7. フェイスシート	15( / )	して示すことができる。	事療法、薬物療法、透析療法、血液	
1. フェイスシート を示す血液データ、画像診断、胸水、 2. 病態関連図 心胸比、体液量過剰、健康知覚・健 3. 機能的健康パターンのアセスメント		⑤ 学びのプロセスを他者に説明できる。	透析療法、腹膜透析療法、腎移植、	
2. 病態関連図       心胸比、体液量過剰、健康知覚・健         3. 機能的健康パターンのアセスメント       康管理パターン、栄養・代謝パターン、活動・運動パターン、排泄パタ		学修成果物	尿毒症、CKD の重症度分類、腎障害	
3. 機能的健康パターンのアセスメント       康管理パターン、栄養・代謝パター         4. 全体像関連図       ン、活動・運動パターン、排泄パタ		1. フェイスシート	を示す血液データ、画像診断、胸水、	
4. 全体像関連図 ン、活動 - 運動パターン、排泄パタ		2. 病態関連図	心胸比、体液量過剰、健康知覚 - 健	
		3.機能的健康パターンのアセスメント	康管理パターン、栄養・代謝パター	
知識確認テスト(10点) ーン、役割関係パターン		4. 全体像関連図	ン、活動 - 運動パターン、排泄パタ	
l l		知識確認テスト(10点)	ーン、役割関係パターン	

16( / )	慢性疾患患者の看護(3)糖尿病事例	[既習したⅡ型糖尿病について復習	講義・グ
17(/)	① 事例の病態生理、治療、検査を病態関連図に	しておく。	ループワ
18( / )	描写できる。	[復習] 授業内容を振り返り、看護展	ーク
19( / )	② フェイスシートが適切に記載できる。	開に活用する。	○棚橋
20(/)	③ 必要な機能的健康パターンの看護アセスメ	[キーワード]	
21(/)	ントができる。	Ⅱ型糖尿病、インスリン抵抗性、診	
	④ 看護アセスメントの結果を全体像関連図と	断基準、糖尿病の検査、食事療法、	
	して示すことができる。	運動療法、薬物療法、インスリン注	
	⑤ 学びのプロセスを他者に説明できる。	射、自己血糖測定、高血糖症状、低	
	学修成果物	血糖症状、慢性合併症、健康知覚 -	
	1. フェイスシート	健康管理パターン、栄養 - 代謝パタ	
	2. 病態関連図	ーン、活動 - 運動パターン、コーピ	
	3. 能的健康パターンのアセスメント	ングパターン	
	4. 全体像関連図		
	5. 援助計画立案		
	知識確認テスト(10点)		
22( / )	糖尿病患者への学習支援	[予習]援助計画に基づいた援助場面	演習
	① 援助計画に基づいてケアを実践できる。	をイメージしておく。	〇棚橋
		[復習]授業を振り返り援助計画の修	
		正を行う。	
		[キーワード]シミュレーション、ア	
		ンドラゴジー、セルフマネジメント、	
		コミュニケーションなど	
23( / )	慢性期看護のまとめ	[予習・事前課題]慢性期看護につい	演習・ジグ
	① 慢性期看護についてグループワークを行い、	ての自分の考えをレポートに記載し	ソー学習
	慢性期看護に必要な視点を明確にできる	提出する。	○棚橋
		[復習]グループワークや発表会を踏	
		まえ、慢性期看護について整理する。	
		[キーワード] セルフケア、アドヒア	
		ランス、コンコーダンス、エンパワ	
		メントなど	
1			